

講座実施報告書

講座名	データが語る！地域コミュニティの大切さ		
開催場所	オンライン、青葉区役所 4 階会議室		
参加者	13 人(男性 3 人、女性 10 人)		
開催内容	日時	内容	講師
	令和 3 年 3/3 (水) 10:00~12:00	*最新データを示し、想いやチカラを地域につなげるノウハウを学ぶ	五井 潤利明氏 (NPO 法人 CR ファクトリー 副理事長・事業部長)

この講座は、住んでいる地域に愛着を深め、地域で活動していく楽しさや面白さを知ってもらうため令和 2 年 12 月 11 日(金)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染者数が増えていたため翌年 3 月 3 日(水)に延期しての開催となりました。講師と相談し、より安全に開催できるようオンラインと会場を併用することになりました。

まずは自己紹介から始めました。会場参加の人はホスト用のパソコンに移動し、オンライン参加の人と一体感が持てるように工夫しました。参加者は地区社協のボランティアや民生委員など、既に地域でコミュニティを運営している人が多く悩みや困っていることが具体的でした。これからどう活動を広げていけば良いか模索しているようでした。

次に、現代日本の状況の説明がありました。特徴として、若年層(20 歳以下)の自殺が多いことや児童虐待の相談対応件数が増えていることが上げられました。その問題の原因は社会構造の変化にあり、血縁・社縁・地縁が衰退しているため自分で縁を選択する力がないとつながれない、つながり方が分からない人は孤立してしまう現状が伝えられました。そのため、「コミュニティが大切」と話が続けました。つながりや人を信じる心が豊かであるほど健康であることや社会参加している男性はうつ発症リスクが低いなどの効用が上げられました。最後はボランティアや市民活動の意義でまとめられ、「なぜコミュニティが必要なのか」について順を追って分かりやすく構成されていました。また、全てがデータで現されているため視覚的にも理解することが出来ました。

残念だったのは、参加者同士で話す時間が取れなかったことでアンケートにもそのように書いている人が多数いらっしゃいました。コロナをきっかけにオンライン開催が広がっていますが、その良さを生かしつつ改善を重ねていきたいと思いました。

(担当)

